

「旅館・公衆浴場のレジオネラ症発生防止対策」  
「食中毒対策」  
「犬猫の苦情及び引取状況」

について

高千穂保健所 衛生環境課

# 「旅館・公衆浴場のレジオネラ症発生防止対策」

## ●レジオネラ症発生防止のための「3つの柱」

- I 施設の衛生管理：清掃・消毒
- II 水質検査の実施：残留塩素測定  
と検査機関での浴槽水検査
- III 自主管理



お船出の湯

# 最近のレジオネラ関係報道 (2023.2~10)

## 基準値超えたレジオネラ菌検出、市に届け出ず営業継続... 山口県宇部市の温浴施設「報告失念」

2023/10/05 10:27

スクラップ



### 打たせ湯から基準140倍のレジオネラ属菌 消毒の「盲点」が原因に

有料記事

茂木克信 2023年4月15日 10時00分



山口県宇部市は4月15日、市内の「くすくすの湯」の指定管理者が市に届け出ず営業継続していたことが明らかになったという。



基準の140倍のレジオネラ属菌検出=2023年3月29日、新潟市 信撮影

## 「大丸別荘」湯の入れ替え年2回、基準値3700倍のレジオネラ属菌...県調査に虚偽説明

2023/02/24 22:33

スクラップ



福岡県筑紫野市の老舗旅館「二日市温泉・大丸別荘」が、公衆浴場法に基づく県条例に違反して、浴場の湯の入れ替えを年2回しか実施していなかったことがわかった。県の調査に虚偽の説明もしており、県は同法に基づく罰則の適用を検討している。



二日市温泉・大丸別荘

県条例では、連日使用型の循環浴槽の場合、週1回以上、湯を完全に入れ替え、湯内の残留塩素濃度を1リットルあたり0.4ミリ・グラム以上にする必要がある。

## 宿泊施設でレジオネラ菌、宮崎市が1年超指導せず...報告書見落とし「後で気づいて消毒」

2023/09/10 13:32

スクラップ



宮崎市は9日、市内の宿泊施設から昨年7月、浴槽で国の基準値を超えるレジオネラ属菌が検出されたとの検査結果を受け取ったにもかかわらず、約13か月にわたって必要な指導をしていなかったことが明らかになった。

## 温泉施設でレジオネラ属菌 2300倍、福井・あわら

9/27(水) 10:53 配信 649



福井県あわら市は27日までに、同市の温泉施設「セントピアあわら」の浴槽から基準値の最大2300倍のレジオネラ属菌が検出されたと発表した。現時点で健康被害の報告はないが、市は利用後に体調を崩した場合、申し出るよう呼びかけている。検出を受け、施設は営業を休止している。

施設が13日に実施した3か月に1度の定期水質検査で、浴槽の水から菌が検出された。水は浴槽に入れる前に配管内で消毒するが、配管に薬剤を入れる機械が故障していたという。

前回6月の検査では検出されていなかった。市は十分な消毒ができていなかったのが原因とみている。

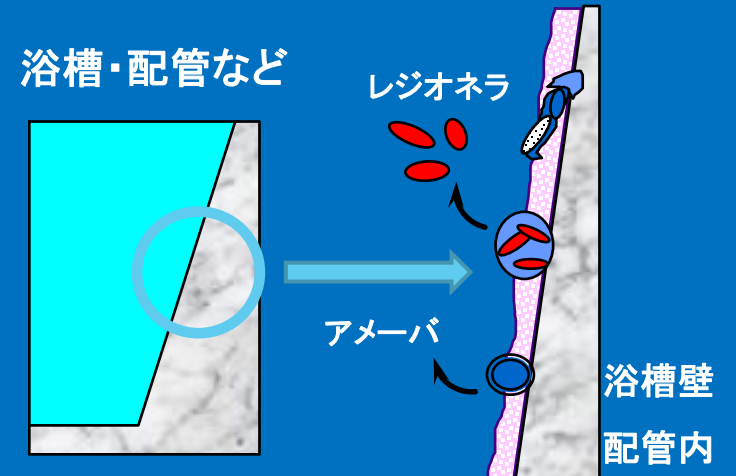
# 「旅館・公衆浴場のレジオネラ症発生防止対策」

●レジオネラ属菌は「ぬめり(バイオフィルム)」の中に存在

●レジオネラ属菌は「ぬめり」の中で増え、「ぬめり」から飛び出したレジオネラ属菌を含むエアロゾル(空気中に舞う細かい水滴)を吸い込み感染

→肺炎を発症

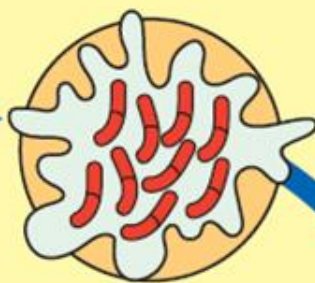
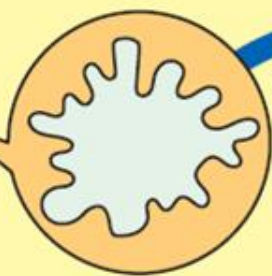
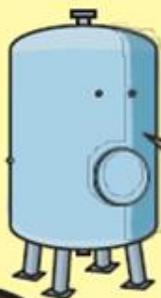
シャワー、打たせ湯、ジャグジーなど



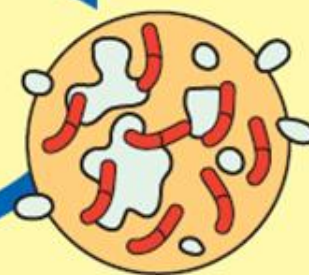
25~43℃で  
増殖

# 「旅館・公衆浴場のレジオネラ症発生防止対策」

- ① 入浴施設の配管、貯湯槽内など  
(生物膜のある場所) でアメーバが生息する



- ② アメーバの中で  
レジオネラ属菌が  
増殖する



- ③ アメーバが破裂し、  
レジオネラ属菌が  
飛び出す

しぶき

**エアロゾル**

空気中に舞う  
細かい水滴



- ④ レジオネラ属菌を含む  
エアロゾルを吸い込んで感染する

# 「旅館・公衆浴場のレジオネラ症発生防止対策」

## ●高千穂保健所の対応

(1) 「循環式浴槽等の使用再開に伴うレジオネラ症への感染防止対策について」

管内旅館業営業者97施設に資料送付

(2) レジオネラ属菌汚染防止対策講習会の実施(10/4・11)

(3) 管内旅館業施設の一斉巡回(生活衛生営業経営指導員と)

# 「食中毒対策」

- 石川県の観光施設での「流しそうめん」食中毒

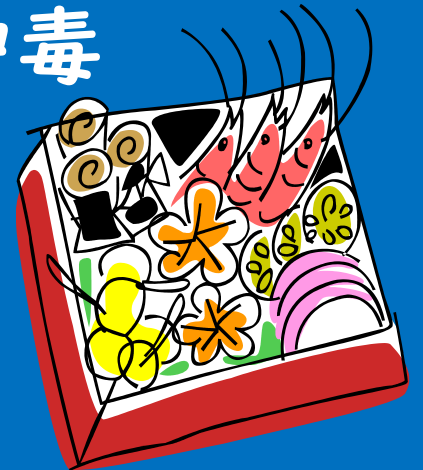


18都府県 患者数892人  
湧水汚染が原因

- 青森県八戸市の大手弁当会社製造「駅弁」食中毒

29都道府県 患者数521人

複数の要因が重なった



# 「食中毒対策」

## “流しそうめん”で93人食中毒 500人調査中 湧き水から「カンピロバクター」検出 豪雨で 水質検査行わず

2023年9月1日 1時5分 HRO北陸放送



- ※使用水(湧水)につきましては、**消毒装置の設置**や**定期的な水質検査**の実施をお願いします。
- ※災害等により水源が汚染されたおそれがある場合には、その都度水質検査を行いましょう。

### 「大滝観光流しそうめん」を利用された方へ

8月11日(金)～12日(土)に上記施設を利用した方から、保健所等へ下痢、発熱等を発症したとの連絡・相談が複数ありました。本県では、8月17日(木)に当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と判断し、当該施設を3日間(8月17日(木)～8月19日(土))の営業停止処分としたところです。

保健所で調査したところ、当該施設が使用していた湧き水の原水からカンピロバクターが検出され、この湧き水を使用した食事を提供したことを原因とするカンピロバクター食中毒と判断しました。

健康に関するご相談や情報提供等がある方は、お住まいの最寄りの保健所、保健福祉センター又は薬事衛生課にご連絡ください。

カンピロバクターによる食中毒は、わが国で発生している細菌性食中毒の中で、発生件数が最も多く、家庭でも発生する恐れがあります。

鶏肉を生や加熱不十分の状態を食べることは、食中毒発生のリスクが非常に高い行為です。

また、カンピロバクターに汚染された湧き水などを飲むことにより人に感染することがあります。



# 「食中毒対策」

## ●高千穂保健所の対応

(1)「流しそうめん」報道直後に情報収集し、チラシ作成。

高千穂峡の店舗に持参して、従業員への啓発指導実施

(2) 営業者から選ばれた食品衛生指導員と一緒に、夏・および冬の一斉巡回指導を実施(5施設程度/日)

夏： 7月24日から 8月10日まで

冬： 11月14日から12月11日まで

# 「犬猫の苦情及び引取状況」

## ●苦情内容の変化

- ・犬：放し飼いや鳴き声 → 遺棄（特に猟犬と思われるもの）
- ・猫：高齢者による計画性の無い餌やりや管理放棄



- ・犬：病気やケガ、人に馴れないことから処分対象に
- ・猫：繁殖（頭数増加）による近隣住民への被害（住環境の悪化）および健康被害

# 「犬猫の苦情及び引取状況」

## ●特に「猫」での深刻な問題

- ・餌やり本人の急な死亡や入院・入所により、行き場を失った猫だけが取り残される → 緊急の対応が必要
- ・多くの場合、人馴れしていない



- ・餌を求めて近隣住民の敷地に侵入
- ・人馴れしておらず譲渡（新しい飼主探し）対象とならない

# 「犬猫の苦情及び引取状況」

## ●周囲の健康への被害

- ・健康管理されていないため、人やペットへの感染症媒介の恐れ（体液、媒介昆虫から）



- ・ノミ・ダニなど → 皮膚病（人、ペット）
- ・猫白血病、猫エイズ、猫伝染性腹膜炎など → （ペット）
- ・SFTS、レプトスピラなどの感染症 → （人）

# 県内2人発症1人死亡

マダニ感染症

## 1人は猫の血液からか

県感染症対策室は24日、

日南市の70代女性と宮崎市

の80代女性が、マダニが媒

介する感染症「重症熱性血

小板減少症候群（SFTS

S）」を発症し、このうち

70代女性が死亡したと発表

した。県内での感染確認は

今年に入って初めて。80代

女性は死んだ地域猫の血液

に素手で触れており、その

際にうつった可能性が高い

という。

同室などによると、70代

女性は今月初旬から発熱な

どの症状があり、入院して

治療を受けていたが、同中

旬に死亡した。その後、感

染が判明。マダニにかまれた

痕はなく感染経路は不明。

80代女性は今月初旬に発

症し、現在は医療機関に入

院中で快方に向かっている。

1月下旬、死んだ地域

猫を葬った際、血液に触れ

たという。宮崎市保健所は

「SFTSは、感染した動

物の血液や体液を介して人

にうつるリスクがあるた

め、死んだ動物や体調不良

の動物には素手で触らない

ようにしてほしい」と呼び

掛けている。

（岩切廉一朗）

2022年(令和4年)2月25日 宮崎日日新聞

死亡した猫を素手で触った



SFTSは、感染した動物の血液や体液を介して人に感染する可能性があります

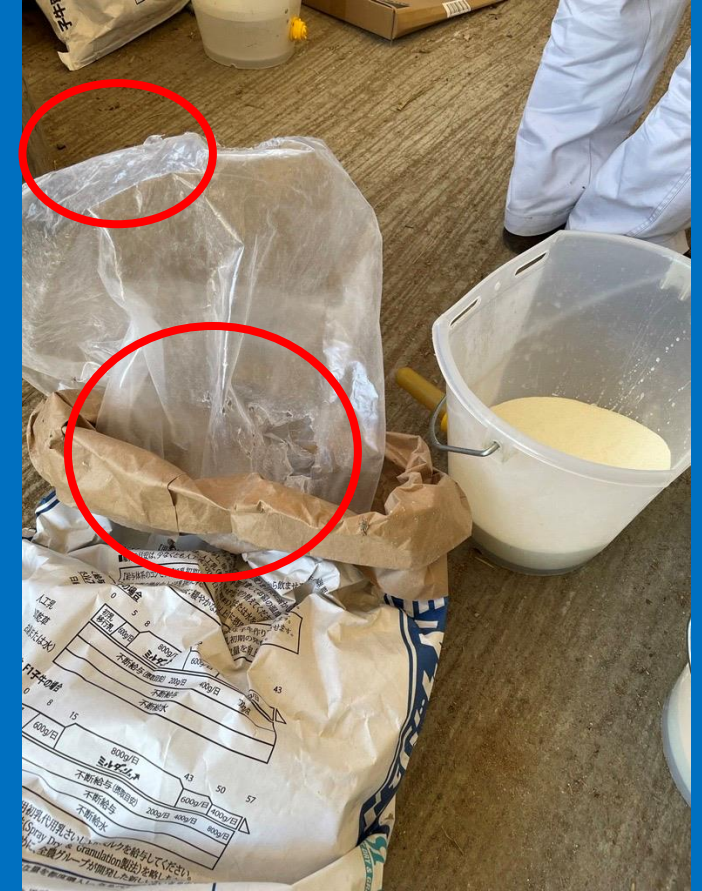
# 「犬猫の苦情及び引取状況」

## ●産業への被害

- ・田畑や畜舎を荒らしたり、糞尿をすることで、商品価値の低下や管理の手間や費用の負担増など経済的影響が発生



餌箱で糞尿すると、牛が餌を食べなくなる



食い破られた仔牛用粉末ミルクの袋

# 「犬猫の苦情及び引取状況」

## ●高千穂保健所の対応

(1) 狩猟免許更新講習会で虐待・遺棄防止を啓発

(2) 警察との連携

(3) 猫の餌やりに関する共通項

「高齢者」・「独居」・「地域または同居家族からの孤立」

→行政の福祉部門、地域の民生委員等との連携